

# 目次

1. be 動詞

2. 一般動詞

3. 疑問詞

4. 命令文

5. 三人称単数現在

6. 現在進行形

7. can

8. 一般動詞の過去形

9. 名詞の複数形

10. 代名詞

## 単元名：be 動詞

**be 動詞**：am、are、is の3つの動詞。「～です。」「～いる（ある）。」という意味がある。

### be 動詞の使い方

- ① **am**→主語が **I** のとき。
- ② **are**→主語が **You** と **複数** のとき
- ③ **is**→主語が **I、You 以外** の **単数** のとき。

### be 動詞の文の作り方

- ① **主語** + **be 動詞** + **名詞**.

**I am Ken.**

(私はケンです。)

**You are our teacher.**

(あなたは私たちの先生です。)

**This is my pen.**

(これは私のペンです。)

- ② **主語** + **be 動詞** + **形容詞**.

**I am happy.**

(私は幸せです。)

- ③ **主語** + **be 動詞** + **場所を表す言葉**.

**My book is on the desk.**

↖前置詞をつける

(私の本は机の上にある。)

## be 動詞の疑問文の作り方

be 動詞 + 主語 + その他 + ?

(**This is** your bike.)



**Is this** your bike ?

(これはあなたの自転車ですか。)

※主語と be 動詞を入れ替えて文の最後に ? をつける。

## be 動詞の疑問文の答え方

Yes, + 主語の代名詞 + be 動詞. / No, + 主語の代名詞 + be 動詞 + not.

Is this your book ? – Yes, it is./No, It's not.

※物が主語のときは it を使う。

(これはあなたの本ですか。－はい、そうです。いいえ、ちがいます。)

Are you Ken ? – Yes, I am./No, I'm not.

※you できかいたら I で答える。

(あなたはケンですか。－はい、そうです。いいえ、ちがいます。)

## be 動詞の否定文の作り方

主語 + be 動詞 + not + その他.

We are not students.

(私たちは生徒ではないです。)

※be 動詞の後に not をつける。

## 単元名：一般動詞

一般動詞：be 動詞以外の動詞。 study、use、play など。

### 一般動詞の文の作り方

主語 + 動詞 + その他.

We **study** English everyday.

(私たちは毎日英語を勉強します。)

I **have** lunch at twelve.

(私は 12 時に昼食を食べる。)

### 一般動詞の疑問文の作り方、答え方

Do + 主語 + 動詞 + その他 + ?

(**They** like music.)

Do **they** like music ?

(彼らは音楽が好きですか。)

Yes, + 主語の代名詞 + do./No, + 主語の代名詞 + don't.

Yes, they do./No, they don't.

(はい、好きです。/いいえ、好きではありません。)

### 一般動詞の否定文の作り方

主語 + don't + 動詞 + その他.

I **don't play** the piano.

(私はピアノを弾きません。)

## 単元名：疑問詞

疑問詞：what(何)、who(誰)、where(どこ)、when(いつ)、why(なぜ)、which(どちら)、whose(誰の)、how(どのように)を指す。  
疑問文で疑問詞は文頭に来る。

### 疑問詞の疑問文の作り方

①主語をたずねる疑問文

疑問詞+動詞+その他.

(Ms.Ito teaches English.)

Who teaches English ? – Ms.Ito does.

(誰が英語を教えますか。－伊藤先生です。)

※答える時は be 動詞の文なら be 動詞、一般動詞の文なら do、does を使う。

②主語以外をたずねる疑問文

疑問詞+普通の疑問文の疑問詞で聞かれている部分以外+?

(Does Ken play soccer after school?)

When does Ken play soccer ? – He plays soccer after school.

(ケンはいつサッカーをしますか。－彼は放課後にサッカーをします。)

※この文の場合、いつ?と聞く文なので after school(放課後)を省略。

また、答え方として Ken を He(代名詞の主格)にする。

連語の疑問詞：what time(何時)、what day(何曜日)、how old(何歳)、how long(どれくらいの長さ、期間)、how often(何回)、how much(いくら)、how far(どれくらいの距離)、how many(いくつ)の他、what+名詞、Which+名詞などがある。

How long are you going to stay ?

(あなたはどのくらいの期間滞在するつもりですか。)

What subject do you like ?

(あなたはどの教科が好きですか。)

## Why~の文に対する答え方

Because~ (なぜなら~) や To~ (~するために) を使う。

**Why do you study English ? – To talk with foreign people.**

(あなたはなぜ英語を勉強するのですか。ー外国の人々と話をするためです。)

## How many~の文の作り方

How many の後は名詞の複数形がくる。

**How many books do you have ?**

(あなたは本を何冊持っていますか。)

## 動詞を尋ねる場合

下線部を尋ねる疑問文で動詞に線が引かれている場合、do を動詞に使い、進行形の時は doing を使う。

Emi reads a book after dinner.

→What does Emi **do** after dinner ?

(エミは夕食後に何をしますか。)

They are playing soccer now.

→What are they **doing** now ?

(彼らは今何をしていますか。)

# 単元名：命令文

命令文：「～しなさい。」「～するな。」「～してください。」「～しましょう。」と  
いう表現の文。

## 命令文の作り方

①「～しなさい。」の文

**動詞の原形**+**その他**.

**Open the window.**  
(窓を開けなさい。)

**Be a good student.**  
(良い生徒になりなさい。)

※be 動詞の原形は be。

②「～するな。」の文

**Don't**+**動詞の原形**+**その他**.

**Don't swim in this river.**  
(この川で泳ぐな。)

**Don't be noisy.**  
(騒ぐな。)

③「～してください。」の文

**Please**+**動詞の原形**+**その他**.

**Please close the door.**  
(ドアを閉めてください。)

**Show me your notebook, please.**  
(あなたのノートを私に見せてください。)

※please は文末につけることもある。

④「～しましょう。」の文

**Let's**+**動詞の原形**+**その他**.

**Let's play tennis.** (テニスをしましょう。)

## 単元名：三人称単数現在

三人称単数現在：主語が I、You 以外の単数で現在形。

三人称単数現在の文の作り方

主語+ (動詞+s) + その他.

My brother studies English after dinner.

↑※動詞に s をつける

(私の兄 (弟) は夕食後に英語を勉強します。)

s のつけ方のルール

①語尾が s、sh、ch、x、o の場合、語尾に es をつける。

teach→teaches、go→goes、wash→washes

②語尾が子音+y の場合、語尾の y を i にかえて es をつける。

study→studies、cry→cries

③不規則変化

have→has

④語尾に s をつけるだけ

play→plays、take→takes

三人称単数現在の疑問文の作り方

Does+主語+動詞+その他+?

(Ken knows them.)

Does Ken know them ?

(ケン is 彼らを知っていますか。)

※Do と Does の区別にご注意。

また、Does の疑問文は動詞から s をとる。



### 三人称単数現在の疑問文の答え方

**Yes,** + 主語の代名詞 + **does.** / **No,** + 主語の代名詞 + **doesn't.**

**Does Emi play tennis ? – Yes, she does. / No, she doesn't.**

(エミはテニスをしますか。－はい、彼女はします。いいえ、彼女はしません。)

※男性は **he**、女性は **she** にする。

### 三人称単数現在の否定文の作り方

主語 + **doesn't** + 動詞 + その他。

**Ken doesn't watch TV.**

(ケンテレビを見ません。)

※疑問文同様、動詞から **s** をとる。

## 単元名：現在進行形

**現在進行形**：現在、動作をしている途中だということを表す。  
「～している」「～しているところだ」という意味。

### 現在進行形の文の作り方

主語+be 動詞+動詞の ing 形+その他。

**Yumi is watching TV.**

(ユミはテレビを見ているところです。)

### 現在形と現在進行形の違い

**現在形**：習慣、普遍の事実など。

**I use a computer after dinner.**

(私は夕食後にパソコンを使う。)

**現在進行形**：今やっている動作。

**I'm using a computer now.**

(私は今、パソコンを使っている。)

### 動詞の ing 形の作り方

①語尾が e の場合、e を省略して ing をつける。

take→taking、have→having、use→using

②語尾が短母音+子音字の場合、語尾の子音字を重ねて ing をつける。

run→running、swim→swimming、sit→sitting

③その他、語尾に ing をつけるだけ。

play→playing、study→studying、watch→watching

## 現在進行形の疑問文の作り方

be 動詞 + 主語 + 動詞の ing 形 + その他 + ?

(**Emi is** making lunch now.)



**Is Emi** making lunch now? – Yes, she is./No, she isn't.

(エミは今、昼食を作っていますか。—はい、作っています。いいえ、作っていません。)

## 何をしているか尋ねる場合「今何をしていますか」の表現

What + be 動詞 + 主語 + doing + その他 + ?

**What are you doing** now?

(あなたは今、何をしていますか。)

**What is Aki doing?**

(アキは何をしていますか。)

## 現在進行形の否定文の作り方

主語 + be 動詞 + not + 動詞の ing 形 + その他.

**I'm not eating** breakfast now.

(私は今、朝食を食べていません。)

## 単元名 : can

**can**: 「助動詞」という品詞のひとつ。動詞の原形とセットで使う。  
「～できる」という意味がある。

### can を使った文の作り方

主語+can+動詞の原形+その他.

**Emi can play the piano.**

(エミはピアノを弾くことができる。)

※can の後は動詞の原形なので三人称単数現在の s はつかない。

### can を使った疑問文の作り方

can+主語+動詞の原形+その他+?

(**Emi can** play the piano.)

**Can Emi** play the piano ?

(エミはピアノを弾くことができますか。)

※can と主語を入れ替える。

### can を使った疑問文の答え方

Yes,+主語の代名詞+can./No,+主語の代名詞+can't.

**Can Emi play the piano ? – Yes, she can./No, she can't.**

(エミはピアノを弾くことができますか。— はい、彼女は弾けます。/いいえ、彼女は弾けません。)

### can を使った否定文の答え方

主語+can't+動詞の原形+その他.

**Tom can't** make lunch.

(トムは昼食を作れなかった。)

## Can I ~? (許可) の表現

Can I ~?は相手に許可を求める。「~してもいいですか。」という意味。

### Can I use this pen ?

(このペンを使ってもいいですか。)

※2年生で習う「助動詞」の単元に出てくる May I ~?とほぼ同じ意味。

答えるとき、許可の場合は、Sure./OK./Ofcourse.、拒否の場合は、sorry,+理由で答える。

## Can you ~?(依頼)の表現

Can you ~?は相手に依頼する。「~してくれませんか。」という意味。

### Can you open the door ?

(ドアを開けてくれませんか。)

※2年生で習う「未来形」の単元に出てくる Will you ?とほぼ同じ意味。

答えるとき、依頼を受ける場合は、Sure./OK./Ofcourse.、拒否の場合は、sorry,+理由で答える。

※Can you ~ ?の聞き方は Please+命令文より丁寧な聞き方になる。

## 単元名：一般動詞の過去形

**一般動詞の過去形**：一般動詞の文を過去形にするには動詞の部分を過去形にする。

### 一般動詞の過去形の文の作り方

**主語**+**動詞の過去形**+**その他**.

**I watched TV.**

(私は、テレビを見た。)

### 一般動詞の過去形の作り方

①語尾が e の場合、語尾に d だけつける。

use→used、skate→skated

②語尾が子音字+y の場合、語尾の y を i にかえて ed をつける。

study→studied、try→tried、cry→cried

③語尾が短母音+子音字の場合、語尾の子音字を重ねて ed をつける。

stop→stopped、drop→dropped、plan→planned

④不規則動詞

go→went、see→saw、have→had

※動詞の過去形は主語によって変化しない。

**過去形の文でよく使われる単語**：yesterday(昨日)、last night (昨夜)、last week (先週)、last year (去年)、two days ago (2日前)

**I talked with him yesterday.**

(私は昨日、彼と話した。)

**We went to the restaurant last week.**

(私たちは先週、レストランへ行った。)

## 一般動詞の過去形の疑問文の作り方

Did + 主語 + 動詞の原形 + その他 + ?

(Emi **went** to Osaka yesterday.)

↓  
**Did** Emi **go** to Osaka yesterday? – Yes, she did./No, she didn't.

(エミは昨日、大阪へ行きましたか。－ はい、行きました。/いいえ、行きませんでした。)

## 一般動詞の過去形の否定文の作り方

主語 + didn't + 動詞の原形 + その他。

**I didn't listen** to music last night.

(私は昨夜、音楽を聴きませんでした。)

※疑問文と否定文の動詞は原形になる。

## 単元名：名詞の複数形

**名詞の複数形**：英語の名詞には、可算名詞（数えられる名詞）と不可算名詞（数えられない名詞）がある。可算名詞では、1つ（1人）のもの（人）を表すときと、2つ（2人）以上のもの（人）を表すときで形が変わる。

1つ（1人）のもの（人）を表す名詞の形を単数形、2つ（2人）以上のもの（人）を表す名詞の形を複数形という。

### 複数形の作り方

①語尾が ch、th、sh、o、x、s の名詞の場合、語尾に es をつける。

box→boxes、bus→buses

②語尾が「子音字+y」の名詞の場合、語尾の y を i に変えて es をつける。

country→countries、story→stories

③語尾が f、fe の場合、語尾の f、fe を v に変えて es をつける。

knife→knives、leaf→leaves

④それ以外の場合、語尾に s をつける。

book→books、bike→bikes

⑤不規則変化

child→children、man→men、woman→women、foot→feet、tooth→teeth

⑥単数形と複数形が同じ形の名詞

fish→fish、deer→deer



数を表す語句：複数形の名詞の前には数を表す語をつけることがよくある。  
two dogs (2匹の犬)、three cats(3匹の猫)など。

### some と any について

主に **some** は肯定文、**any** は疑問文と否定文で使われる。  
**any** は否定文で「全く～ない」という意味になる。

**I have some CDs.**

(私はいくつか CD を持っている。)

**Do you have any CDs ?**

(あなたはいくつか CD を持っていますか。)

**I don't have any CDs.**

(私は全く CD を持っていません。)

## 単元名：代名詞

代名詞：名詞の代わりとして人や物などを指し示す働きをする品詞。

### 人称代名詞の表

	主格	所有格	目的格	所有代名詞
	～は	～の	～を、に	～のもの
私	I	my	me	mine
あなた	you	your	you	yours
彼	he	his	him	his
彼女	she	her	her	hers
それ	it	its	it	
私たち	we	our	us	ours
あなたたち	you	your	you	yours
彼ら	they	their	them	theirs
彼女ら				
それら				

**主格**：文の中で主語になる代名詞。「～は、～が」という意味で文頭にくる。

**I** like music.

(私は音楽が好きです。)

**She** is from Hokkaido.

(彼女は北海道出身です。)

**所有格**：名詞の前につき、名詞とセットで使う。「～の」という意味。

This is **my** bike.

(これは私の自転車です。)

**Your** brother is very cool.

(あなたの兄(弟)はとてもかっこいいです。)

**目的格**：文の中で目的語になる。「～を、～に」という意味。

Yumi knows **us**.

(ユミは私たちを知っている。)

Ms.Green teaches **me** English.

(グリーン先生は英語を私に教えます。)

**所有代名詞**：所有格＋名詞を指し示す。「～のもの」という意味。

**This bike is mine.**

(この自転車はわたしのものです。)

※この文の場合、**my bike** の意味を **mine** で表している。

**This book is yours.**

(この本はあなたのものです。)

※この文の場合、**my book** の意味を **yours** で表している。

【参考教材】

中学校英語学習サイト

<https://english.005net.com/youten.php>

監修：太田洋、久保野雅史 「学研 パーフェクトコース中学英語新装版」 株式会社学研プラス 2008年

明光義塾講習テキスト英語マスター3β 改訂版